箱根ジオパーク
Hakone Geopark

はこジ郎のぶらぶらジオ日記

今回は、「夕日の滝」を紹介するね。

「夕日の滝」は、地蔵堂地区にある高さ約23mの滝で、金太郎が産湯をつかったという伝説があるんだよ。近くには生まれた家の跡や遊びにつかった「遊び石」など金太郎にまつわる場所があるよ。

みんなは、滝がどのようにできるか知ってるかな？

滝のでき方はいくつかあって、一つは山北町の「洒水の滝」のように、断層でできた崖が滝になる場合。もう一つは、箱根町のジオサイト「飛龍の滝」のように、２つの異なる地層が接する場所で硬い地層と軟らかい地層が接すると、軟らかい方が削られ滝になる場合。

それでは、夕日の滝はどのようにできたのかな。答えはその両方なんだって。

夕日の滝のあたりには、箱根火山の溶岩や火山灰などでできた「かたい地層」の下に、浅い海でたまった「やわらかい地層」（足柄層群）があるよ。あるとき、断層が動いて、下にあった軟らかい地層が盛り上がって、硬い地層と隣同士に接するようになったんだ。この断層を「夕日の滝断層」というよ。その後、箱根火山の外輪山を水源とする内川の水流によって、軟らかい地層が削られて、滝になったんだって。

11月の土・日曜日と祝日には、金太郎の遊び石の近くで「金太郎の遊び石休憩所」を営業しているよ。喫茶コーナーや地元の農産物の販売、ジオガイドによる無料ガイドを行っているよ。

これから紅葉も見頃になるので、ぜひ遊びに来てね。

南足柄市ふるさと大使「よいしょの金太郎」

ジオツアー「金時山登山」参加者募集！

箱根エリアを代表するジオサイト「金時山」。その金時山へ登頂後、南足柄エリアに下山し金太郎生誕の地と伝えられる地蔵堂地区の夕日の滝などを見学します。

日　時　12月2日㈯9時～17時頃

集　合　小田原駅西口

行　程　小田原駅→（貸切バス）→金時登山口→金時山山頂→（峠分岐）→夕日の滝→地蔵堂→（貸切バス）→大雄山駅（約15キロメートル）

定　員　健脚の方40人（応募者多数の場合は抽選）

参加費　4，000円（昼食・保険代込）

申込み　11月10日（必着）までに、参加者の住所、氏名、年齢、代表者の氏名・電話番号を明記のうえ、FAXまたはメールにて申し込んでください。

申込先　ネイチャートレイル
FAX 0465－46－7596
✉info@nature-trail.jp

問合先　南足柄市企画課
☎0465－73－8001
✉seisakusuishinn@city.minamiashigara.kanagawa.jp

詳細は、箱根ジオパークのホームページをご覧ください。
http://www.hakone-geopark.jp/

箱根ジオパーク・サポーター講座 第3回「火山の専門家と巡ろう！箱根火山バス旅」

ジオサイト「長尾峠」をはじめ湖尻峠などを火山研究者と巡るバス旅を開催します。

地形や地層を観察し、箱根火山の歴史を学んでみませんか。

開催日　12月9日㈯

集合場所および時間　小田原駅西口8時30分、箱根町役場玄関前9時（町内集合場所要相談）
※解散は箱根町役場玄関前12時30分頃、小田原駅13時頃

講　師　首都大学東京火山災害研究センター　小林淳氏

対　象　小学生以上（小学生は保護者同伴）

定　員　20名

申込方法　12月7日までに住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、箱根ジオパーク推進協議会事務局に電話、またはメールで申し込んでください。

照会先　箱根ジオパーク推進協議会事務局　☎85－9560
✉kikakuka@town.hakone.kanagawa.jp

その他詳細は箱根ジオパークのホームページをご覧ください。
http://www.hakone-geopark.jp/

コラム「家庭教育を考える」
～地域でささえる・地域へつなぐ～

子どもたちを地域全体で見守るために、学校・家庭・地域の輪を広げるために、コラム「家庭教育を考える」を連載します。

今回は仙石原小学校からお届けします。

学校・家庭・地域が連携して取り組んでいきたいことの一つに「あいさつ」があります。本校では、あいさつが自分から進んでできる子どもを目指して、日々あいさつの指導を続けています。そして、校内では子どもたちの明るい元気なあいさつの声が響き渡っています。

おそらく家庭の中でも「おはようございます。」「いただきます。」「ごちそうさまでした。」「ただいま。」「おやすみなさい。」「ありがとう。」などのあいさつを習慣にしているというご家庭は多いのではないかと思います。

あいさつといえば、仙石原の交差点で毎朝交通ボランティアをしてくださっている地域の方がいらっしゃいます。毎朝笑顔で「おはよう。」「行ってらっしゃい。」と登校してくる全員の子どもたちに声をかけてくださいます。なかなか校外ではあいさつができない子どもも、この時ばかりは恥ずかしがりながらも小さい声で「おはようございます。」と返したり、ペコリとお辞儀をしたりして通り過ぎていきます。子どもたちの「あいさつは、いつでもどこでも誰とでも」という意識は、このような場面を通して根付いていくのだなといつも有難く感じます。

子どもは家庭や学校の中だけで育つわけではありません。このように、地域の様々な人たちと関わり、温かく見守られながら成長していくものです。地域の多くの方が子どもたちに関わり、地域の子どもとして見守り育てていく環境が、家庭にとっても学校にとっても支えになります。地域へつなぐ「あいさつ」への励ましを、学校はこれからも大切にしていきたいと思います。

仙石原小学校
☎84－8049

照会先　教育委員会生涯学習課☎85－7601

箱根町『園・小・中学校一貫教育（分離型）』

箱根英語教育推進プロジェクト編

外国人観光客へ“箱根の名所や名物は？”

園・小・中一貫教育の一環として箱根英語教育を推進しています。

中学校では平成28年度より、２，３年生の総合的な学習の20時間分を国際理解学習として扱い、郷土を愛し、おもてなしの心をもって『地域に貢献できる生徒の育成』をテーマに国際理解教育を推進しています。その取組みとして、８月号で紹介した学年交流英会話クラス（ワールドカフェ）や外国人インタビュー活動を実施し、おもてなし英語を使いながら箱根に来る外国人観光客へ箱根を英語で紹介できることを最終目標としています。

その流れの中で、９月22日に中学３年生が箱根の観光地や駅にて、外国人観光客へのインタビューの際、“箱根観光パンフレット（ジオパーク英語版）”を渡しながら、箱根の名所や名物を紹介し、箱根の観光地を広める活動を行いました。

※事前に役割を決めて実演練習（ALTとのロールプレイ）を実施しました。

※外国人観光客へ英語で観光案内“まずは、世界共通ツールの笑顔で”